

社会資本総合整備計画 事後評価シート
阿久根中心市街地地区

令和元年8月

鹿児島県 阿久根市

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年08月15日

計画の名称	阿久根市「うみ・まち・にぎわい」再生整備計画												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)							重点配分対象の該当					
交付対象	阿久根市												
計画の目標	<p>阿久根中心市街地地区は、阿久根市の中心市街地に位置し、市役所や市民会館など多くの公共施設が立地し、3つの商店街が広がっているものの空洞化が進んでいる。</p> <p>また、地区内の中央部に位置する阿久根漁港旧港においても、市場機能が北部の新港に移転し、今後の利活用が課題となっている。</p> <p>一方、肥薩おれんじ鉄道阿久根駅においては、駅舎の再整備が進められており、駅や旧港、市民会館等の拠点整備とあわせて拠点間をつなぐまちなかの整備が連携した回遊性の高い都市基盤の再整備が求められている。</p> <p>そこで、まちのにぎわいと交流の拠点づくりや地域の特色を生かした回遊性の高いまちなみづくり等の都市再生整備と地域協働によるまちづくりの取組を一体的に進めることにより、にぎわいと交流を創出し地域の振興を図る。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,779	A	1,779	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	市民交流センター(仮称)の入場者数を43,226人/年(H24)から53,892人/年(H30)に増加 既存の市民会館及び今後整備する市民交流センター(仮称)の入場者数を調査する。	43226人	45000人	53892人
2	中心市街地地区における観光行事イベントの来場者数を68,051人/年(H24)から100,000人/年(H30)に増加 中心市街地地区で年間に開催される観光行事イベントの来場者数を調査する。	68051人	84000人	100000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	阿久根市	直接	阿久根市	—	—	阿久根中心市街地地区都 市再生整備計画事業	143ha	阿久根市	■	■	■	■	■	1,779		—	
												小計						1,779		
										合計							1,779			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

外部有識者等による事後評価委員会

事後評価の実施時期

平成31年（令和元年度）

公表の方法

市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

地域交流の拠点である市民交流センターの新設により、利便性及び機能性の向上が図られ、一定の事業効果の発現が見られる。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特になし。

○特記事項（今後の方針等）

今回整備した市民交流センターの特性を最大限に利活用するため、事業運営・展開を推進する。また、まちなかの回遊性を促す観光などのソフト事業のさらなる充実を図る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	53892人	新設された市民交流センターは平成30年11月に開館したことから、年間を通して集計することができなかったため。
	最終実績値	17836人	
2	最終目標値	100000人	イベントの開催日数が減少したことや市民交流センター建設工事の影響によりリーディングプロジェクトの一部が中止になったことから、十分な集客ができなかったため。
	最終実績値	85151人	

